

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1114	住民主体の人権教育推進事業	01	一般会計		
		10	教育費		
38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	05	社会教育費		
		08	教育集会所費		
		102	教育集会所事業経費		
安永 幸二	連絡先	23-3157	細々目	05	住民主体の人権教育推進事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
地域住民と行政		人権問題が、住民一人ひとりのものとなって人権意識が、根付いていく。
本年度事業内容	識字教室の実施、人権講演会及び教育講演会の実施	
開始年度	平成 年度	終了年度 平成 年度
	根拠法令・要綱等	伊賀市集会所条例

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.4	0.4	0.4
人件費合計(A)	2,880	2,880	2,880
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	488	438	438
委託料			
報償費	370	360	360
その他	118	78	78
合計(A+B)	3,368	3,318	3,318
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	244	125	125
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,124	3,193	3,193
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
識字教室	回	49	49	49			
人権講演会	回	1	1	1			
教育講演会	回	2	2	2			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
識字教室への延参加者数	行事の必要性の指標として参加者数とした	人	156 目標 ()	160	160
人権・教育講演会への参加者数	一定の枠を設け取り組みを行う	人	211 目標 ()	220	220

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

教室や講演会の実施内容等に工夫を凝らしながら、マンネリズムを打破して興味や関心を惹いていきたい。
--

評価	必要性	4	識字教室については、参加者数こそ少ないが出席率は非常に高い。これは、必要に迫られての状況を示していると言えるので、引き続きこの講座は開設をしていきたい。	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	3		
	効率性	3		